# “アルビクス” ビデオ・オーディオ　エラー検出装置
# ＶＡＤ－６６０
## V/A ERROR DETECTION UNIT

取扱説明書

Ｖ０３

御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

# 目　次


注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特徴　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．各部の名称と機能　・・・・・　５
４．ブラウザからの設定　・・・・・　１１

# 御使用上の注意事項

## 必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

### 警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

### 注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

### お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

# 1. 主な機能と特徴

◇映像・音声のエラーが指定された時間以上連続した場合、
その状態をLANインタフェース（RJ-45）にてパソコン等へ通知します。

◇ＴＣＰ／ＩＰソケット通信はＶAD-800互換のため、既存システムの
ＶＡＤ－８００からの置換えが容易です。

◇6系統の映像・音声信号（Ｌ，Ｒ）のエラーを監視可能です。

◇モニター出力で各種エラー情報、オーディオバーを表示することが可能です。

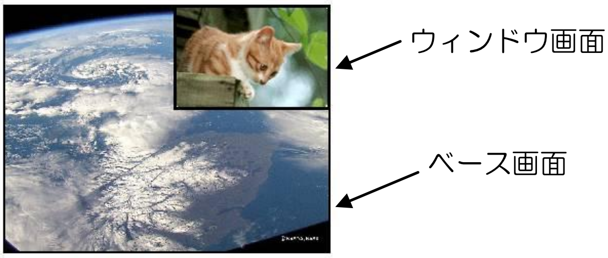
◇映像がレターボックスの場合は、エラー情報の表示やオーディオバーと映像が重ならないように、映像の位置を移動して表示することが可能です。

◇映像は単画面の他、ウィンドウのある分割画面監視も可能です。

＜レターボックス表示例＞

＜４：３単画面表示例＞

＜ベース・ウィンドウを含む画面表示例＞

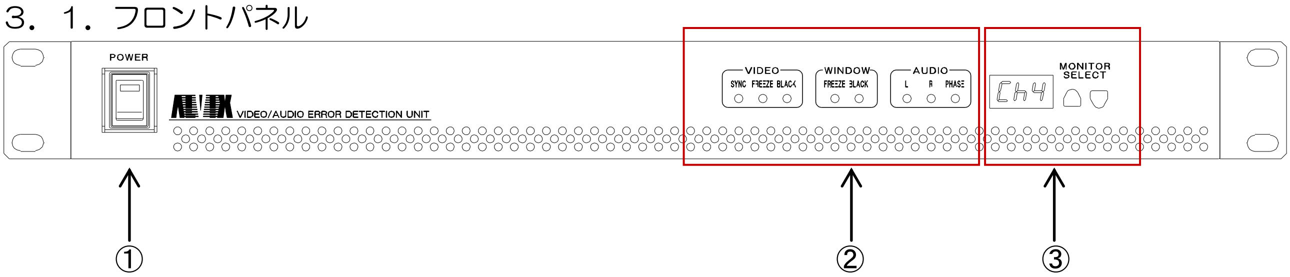


# ２．仕様

| | | | |
|---|---|---|---|
| 入力信号 | 映像信号 | チャンネル数 | ６チャンネル |
| | | 信号形式 | ＮＴＳＣ |
| | | コネクタ | ＢＮＣ |
| | 音声信号 | チャンネル数 | ６チャンネル |
| | | 信号形式 | ステレオ（Ｌ，Ｒ） |
| | | コネクタ | ＲＣＡ |
| モニターアウト | | ６系統（ＮＴＳＣ） | |
| 外部通信仕様 | | １００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔ対応<br>ＬＡＮインターフェース | |
| | | コネクタ | ＲＪ－４５モジュラ |
| 外形寸法 | | Ｗ４３０×Ｈ４４×Ｄ２５０　（mm） | |
| 重量 | | 約　３．５　Ｋg | |
| 消費電力 | | 約１８Ｗ（ＡＣ１００Ｖ±１０%） | |
| 使用温度 | | 5℃　～　40℃ | |

# ３．各部の名称と機能

## ３．１．フロントパネル




① 電源スイッチ

本機器の電源ＯＮ／ＯＦＦを行います。

② ステータス表示

モニター選択されているチャンネルの１秒毎のエラー状態をＬＥＤで表示します。

＜ＶＩＤＥＯ＞

・ＳＹＮＣ

同期断が発生した場合、点灯します。

・ＦＲＥＥＺＥ

フリーズが発生した場合、点灯します。

・ＢＬＡＣＫ

ブラックが発生した場合、点灯します。

＜ＷＩＮＤＯＷ＞

・ＦＲＥＥＺＥ

フリーズが発生した場合、点灯します。

・ＢＬＡＣＫ

ブラックが発生した場合、点灯します。

＜ＡＵＤＩＯ＞

・Ｌ

オーディオＬの無音が発生した場合、点灯します。

・Ｒ

オーディオＲの無音が発生した場合、点灯します。

・ＰＨＡＳＥ

逆相が発生した場合、点灯します。

③ モニター選択

＜通常時＞

モニターするチャンネルを選択できます。選択されたチャンネルの状態は、②ステータス表示のＬＥＤへ表示されます。

ＯＦＦを選択した場合、②ステータス表示のＬＥＤは点灯しません。

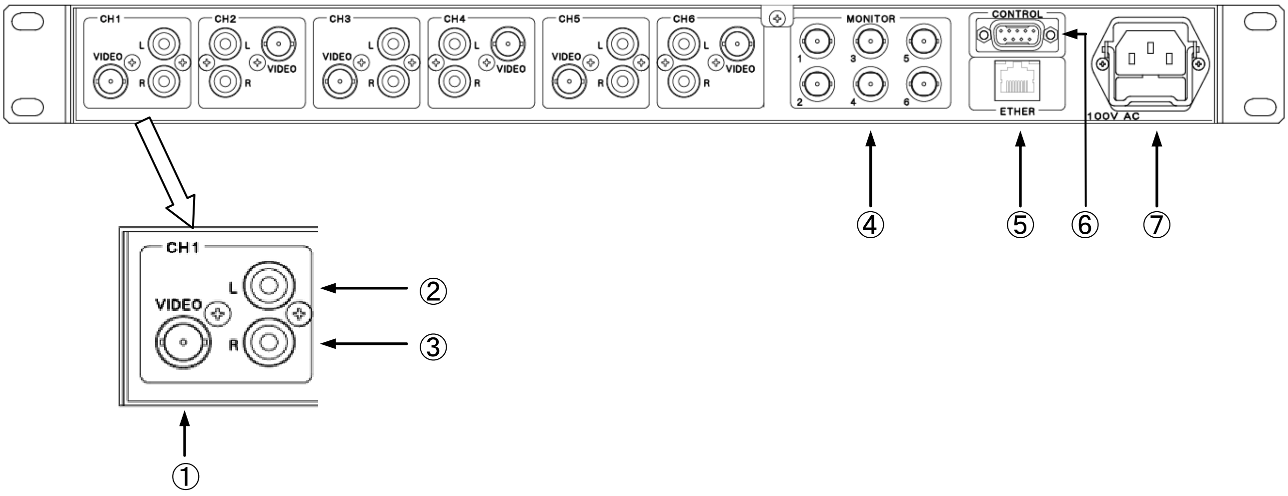
ＡＬＬを選択した場合、入力チャンネルのいずれかでエラーが発生した時に②ステータス表示のＬＥＤが点灯します。

＜起動時＞

機器のＩＰアドレスが数回表示されます。ＩＰアドレスが分からなくなった場合は、電源投入直後の７セグメントＬＥＤの表示によって、機器のＩＰアドレスを確認できます。

ＩＰアドレス表示中にモニター選択の上下キーが押されると、表示をキャンセルして通常時の表示となります。

## ３．２．リアパネル




① ＶＩＤＥＯ
　　　　アナログＶＢＳ信号を入力します。

② Ｌ
　　　　オーディオ信号のＬチャンネル（主音）を入力します。

③ Ｒ
　　　　オーディオ信号のＲチャンネル（副音）を入力します。

④ ＭＯＮＩＴＯＲ
　　　　入力映像をモニター出力します。

⑤ ＥＴＨＥＲ
　　　　ＬＡＮインターフェイスコネクタです。

⑥ ＣＯＮＴＲＯＬ
　　　　ＣＶ－０６１と連動させる場合に接続します。

⑦ １００Ｖ ＡＣ
　　　　ケーブル抜け防止金具付きＡＣ入力（３Ｐインレット）です。

## ３．３．モニター出力の表示について

工場出荷状態では、エラー表示、オーディオバー表示、レターボックス向け表示が有効となっています。
各表示の有効、無効の切替方法は、「４．ブラウザからの設定」の項目を参照願います。

・エラー表示

映像・音声のエラーが指定された時間以上連続した場合、モニター出力の映像上に検出されたエラーが表示されます。
ブラウザからの設定により非表示も選択可能です。

・LOSS　　・・・　入力信号断の場合に表示されます。
・BLACK　　・・・　入力映像で黒味を検知した場合に表示されます（親画面のみ）。
・BLUE　　・・・　入力映像で青を検知した場合に表示されます。
・FREEZE　　・・・　入力映像でフリーズを検知した場合に表示されます（親画面のみ）。
・SILENT　　・・・　Ｌ（主音）またはＲ（副音）の無音を検知した場合に表示されます。
・PHASE　　・・・　逆相を検知した場合に表示されます。
・１KHｚ　　・・・　１KHｚ（放送休止）を検知した場合に表示されます。
・PEAK　　・・・　音声レベルが閾値を超えた場合に表示されます。

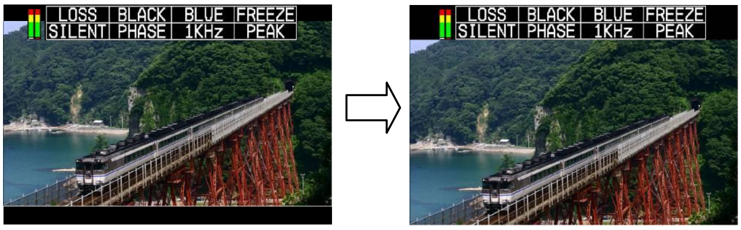
・オーディオバー表示

モニター出力の映像上にオーディオバーが表示されます。ブラウザからの設定により非表示も選択可能です。

・レターボックス向け表示

入力する映像信号がレターボックスの場合、有効にして下さい。映像が、エラー表示やオーディオバーと重らない位置まで（画面下方向へ）移動します。
画面上の各種エラー検知の範囲も、レターボックスに合わせた範囲になります。
映像信号が通常の４：３表示の場合は、設定を無効の状態で使用して下さい。

無効　　有効



・タリー表示

タリー表示をON／OFFする事が出来ます。

レターボックス向け表示が有効の場合のみ使用可能です。

OFF　　　ON

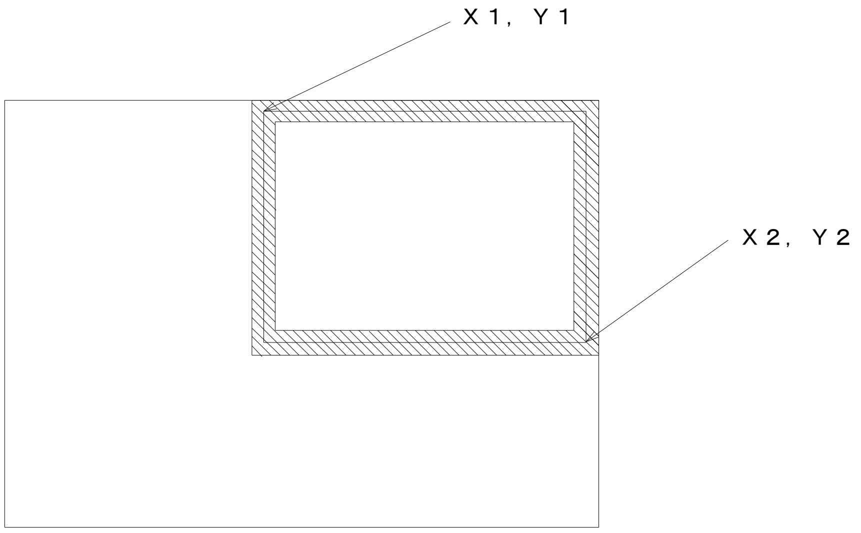
## ３．４．ＣＶ－０６１連動動作について

付属のケーブルでＶＡＤ－６６０とＣＶ－０６１を接続することにより、連動が可能となります。
連動時は、ＣＶ－０６１の表示が自動的に６分割画面となります。エラーが発生した場合、該当チャンネルの枠色が通常色からエラー色へ変化し、点滅します。
チャンネル名称、正常時やエラー発生時の枠色、点滅ＯＮ／ＯＦＦはチャンネルごとに個別に設定することが可能です。
６分割表示パターンの切替えについてもＶＡＤ－６６０から設定することが可能です。
詳しい設定方法については、「４．ブラウザからの設定」の項目を参照願います。

## ３．５．ウィンドウ画面の座標の指定方法

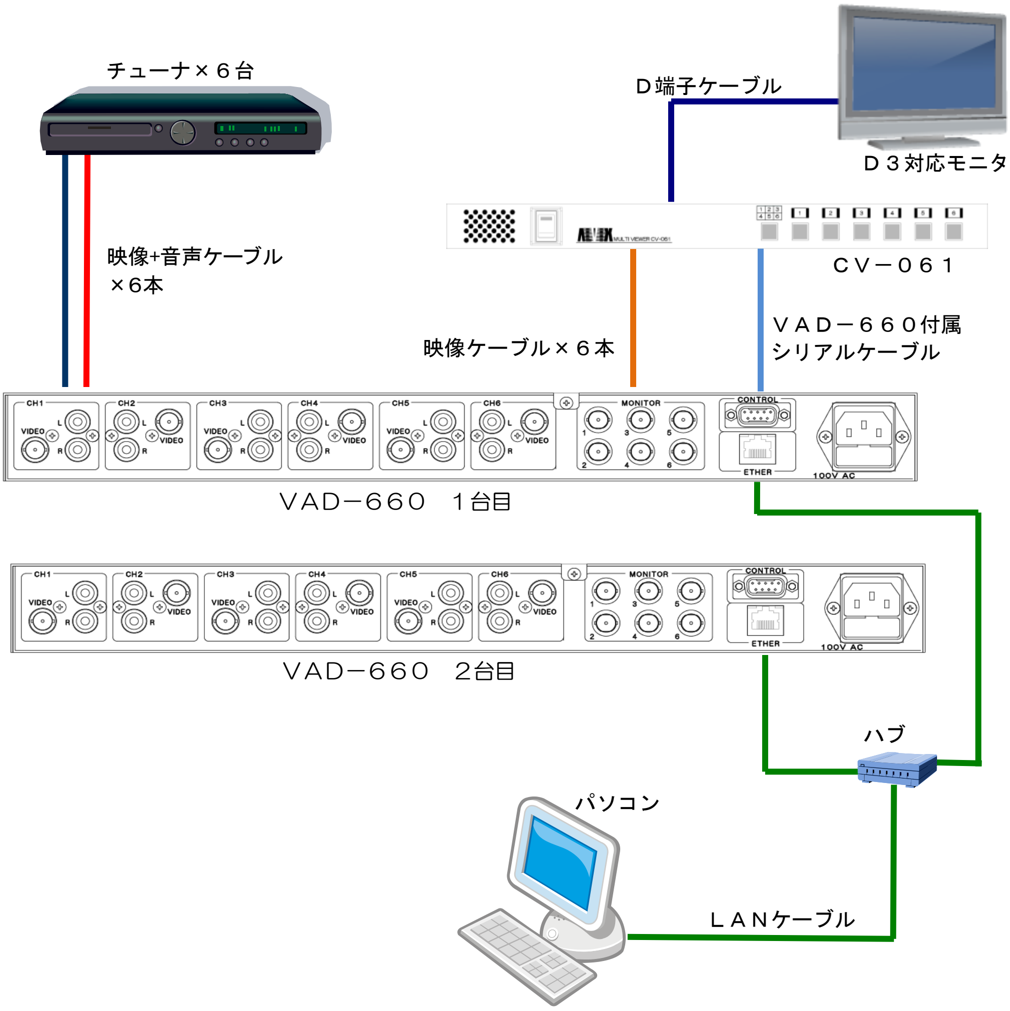
ウィンドウ画面の座標の指定方法は、外部コマンドで　始点（Ｘ１，Ｙ１）と終点（Ｘ２，Ｙ２）を指定します。指定すると、モニタ出力からウィンドウ画面の座標の枠が出ます。
ベースとウィンドウ画面の切替わりラインが青帯の中間に来るように設定して下さい。

（※外部コマンドについては、“インターフェース仕様書”をご参照下さい）



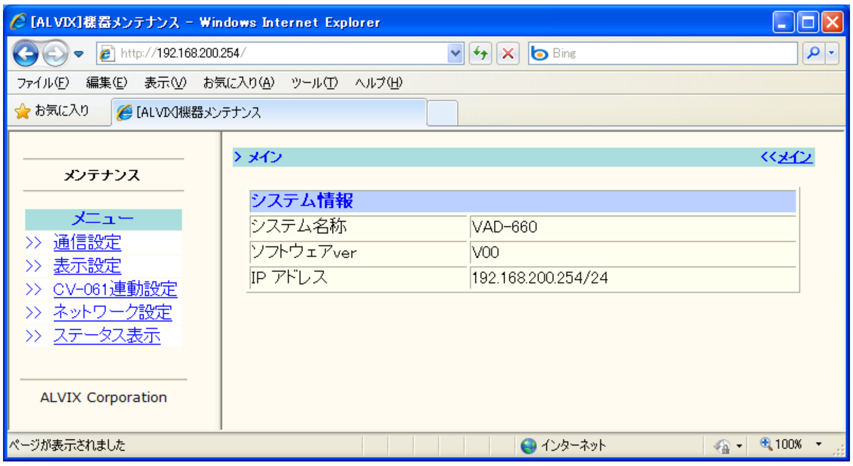
## ３．６．接続方法

ＶＡＤ－６６０と各種機器の接続方法です。
図の例ではパソコンとＶＡＤ－６６０はハブを使用して接続しておりますが、１対１で直接接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。



# ４．ブラウザからの設定

InternetExplorer で本機器へ接続すると以下のようなメインページが表示されます。
左側のメニューから各ページを開くことにより、機器に対して各種設定を行うことが可能です。

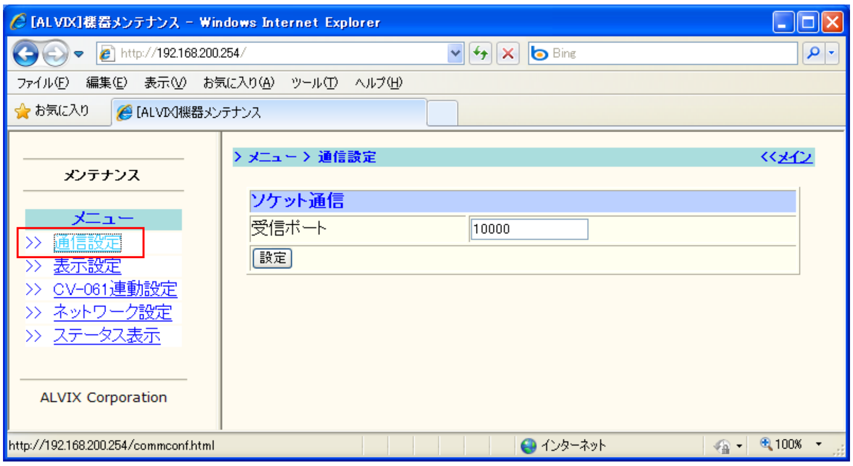


## ４．１通信設定

通信に関する設定内容を変更できます。
設定ページへアクセスするためには、左側のメニューより、「通信設定」をクリックしてください。右側にページが表示されます。

・ソケット通信

ソケット通信で使用するポートを指定できます。標準では１００００です。
問題がなければ標準の状態で使用して下さい。
設定を変更するには、ポート番号を入力後、「設定」ボタンをクリックしてください。設定内容を有効とするには、機器の再起動が必要となります。



## ４．２．表示設定

モニター出力映像の表示方法をチャンネル別に指定できます。

設定ページへアクセスするためには、左側のメニューより、「表示設定」をクリックしてください。右側にページが表示されます。

設定した内容は機器のフラッシュメモリへ記憶され、次回起動時にも同じ設定で動作します。

各チャンネルごとに次の設定項目があります。

・エラー表示

有効を選択した場合、エラー発生時にモニター出力にエラー情報の表示を行います。

・オーディオバー表示

有効を選択した場合、モニター出力にオーディオバーの表示を行います。

・レターボックス向け表示

有効を選択した場合、モニター出力の映像位置とエラー検知の画面範囲をレターボックス向けに変更します。

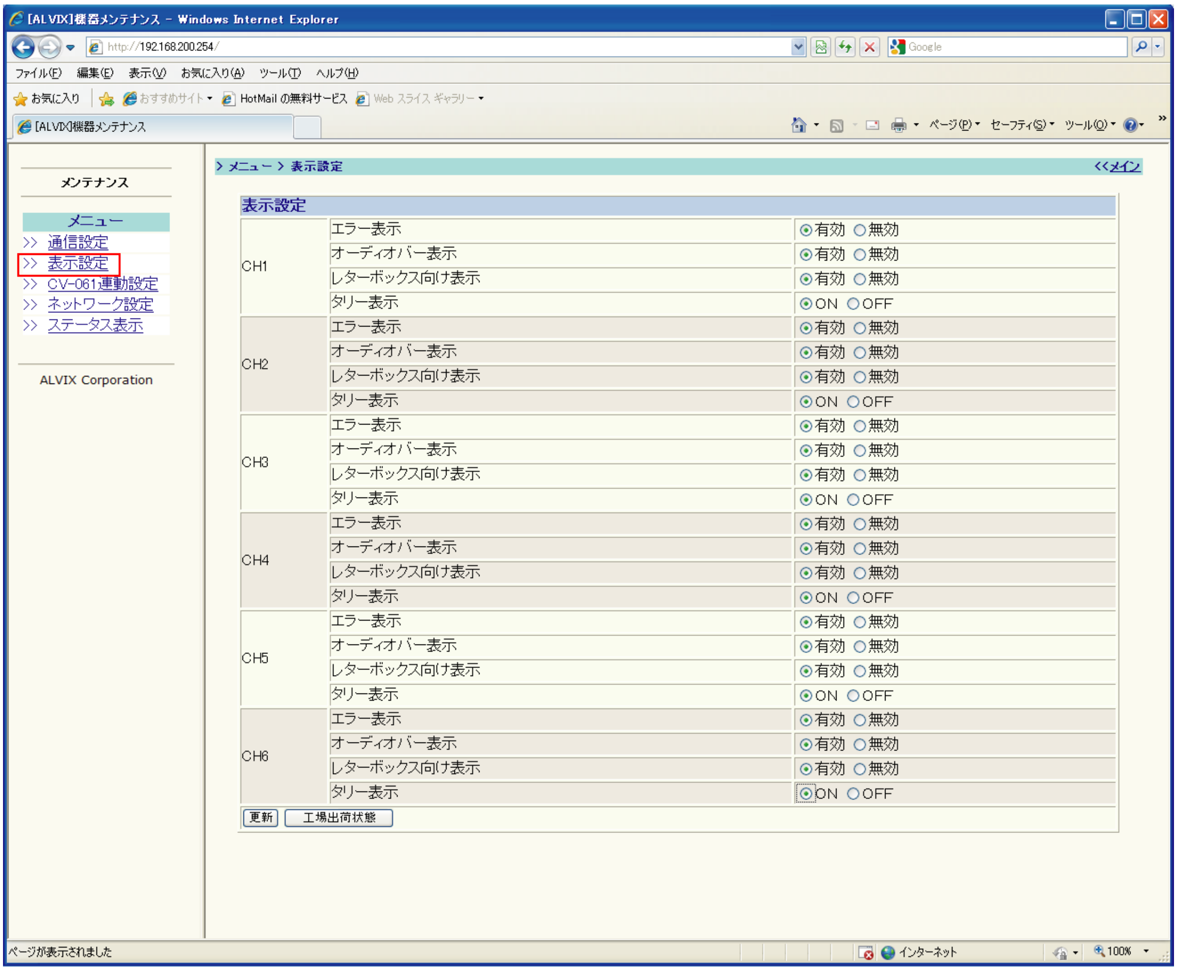
・タリー表示

ＯＮを撰択するとタリーが画面上へ表示されます。

※外部制御コマンドを使用してのＯＮ／OFF の切変えは、ブラウザの表示には反映されません。

設定を変更後は、「更新」ボタンを押してください。機器に設定内容が反映されます。

初期状態へ戻したい場合は、「工場出荷状態」を押してから「更新」ボタンを押してください。



## ４．３．ＣＶ－０６１連動設定

　ＣＶ－０６１に対する制御方法をチャンネル別に指定できます。
　設定ページへアクセスするためには、左側のメニューより、「ＣＶ－０６１連動設定」をクリックしてください。右側にページが表示されます。

　各チャンネルごとに次の設定項目があります。

・表示パターン
　６分割表示で、チャンネルをどのような配置で表示するか指定できます。

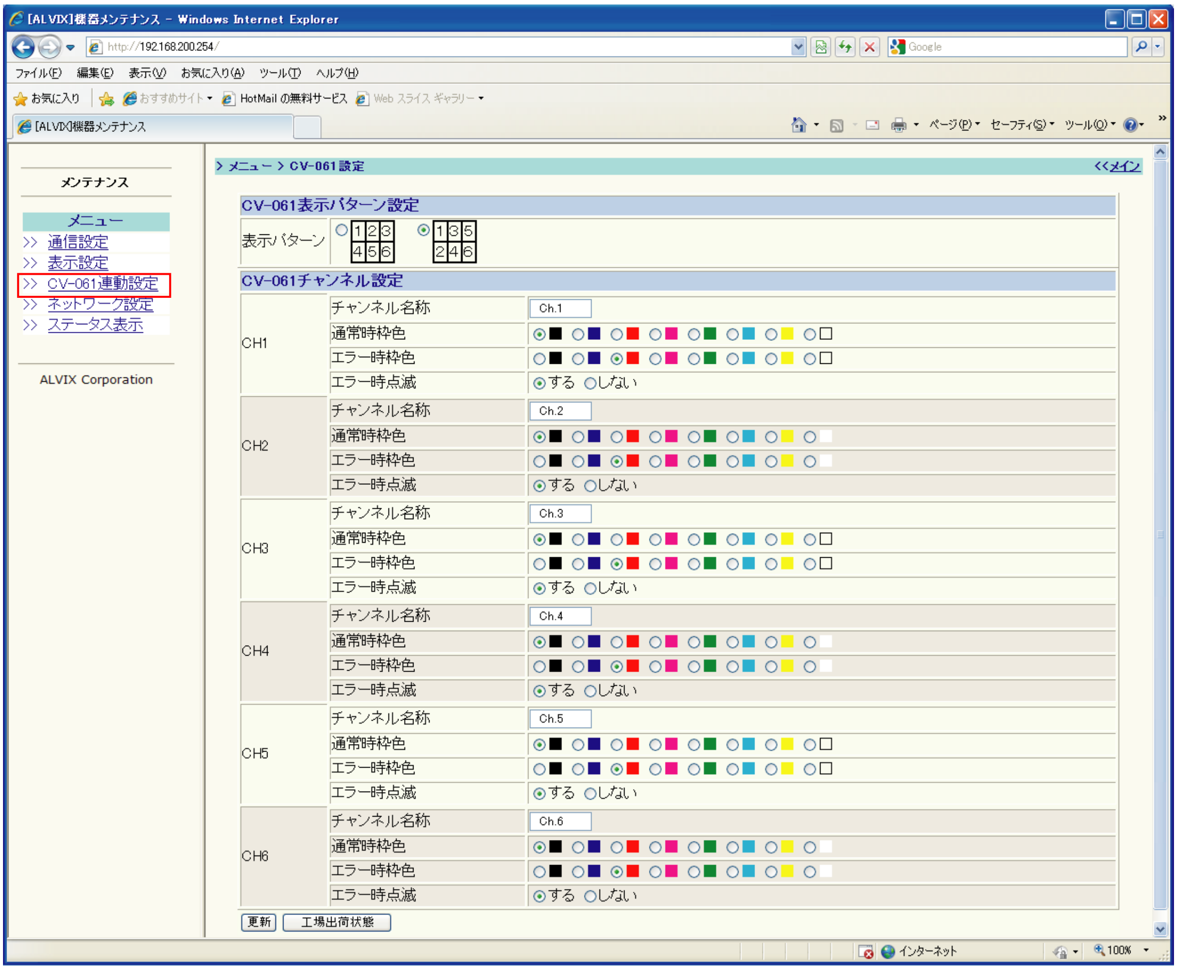
・チャンネル名称
　ＣＶ－０６１へ表示するチャンネル名称を指定できます。半角英数で８文字以内で入力できます。

・通常時枠色
　通常時に表示する枠色を８色の中から指定できます。

・エラー時枠色
　エラー発生時に表示する枠色を８色の中から指定できます。

・エラー時点滅
　エラー発生時に枠を点滅させるかを指定できます。

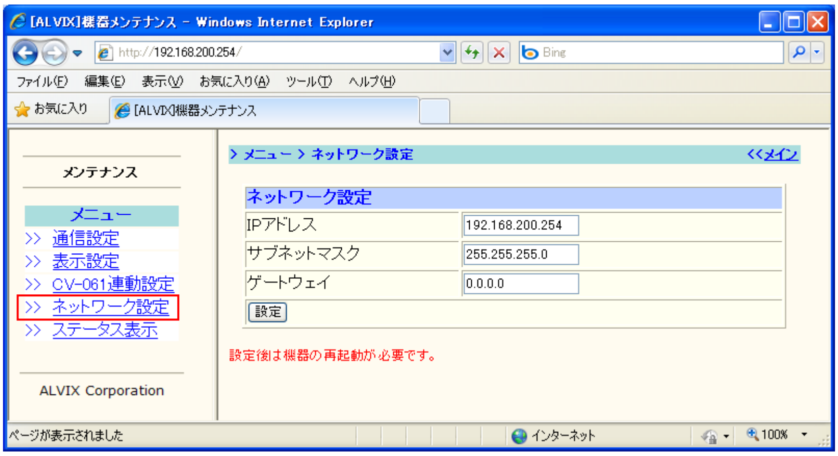
　設定を変更後は、「更新」ボタンを押してください。機器に設定内容が反映されます。
　初期状態へ戻したい場合は、「工場出荷状態」を押してから「更新」ボタンを押してください。



## 4．4．ネットワーク設定

　ネットワークの設定を変更することが出来ます。
　設定ページへアクセスするためには、左側のメニューより、「ネットワーク設定」をクリックしてください。右側にページが表示されます。

　機器を接続するネットワークの環境に応じて、ＩＰアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を変更してください。

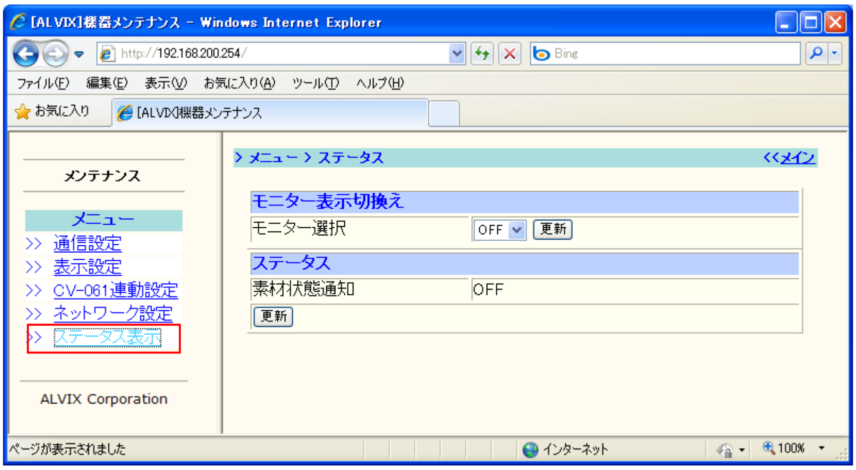



## 4．5．ステータス表示

　機器の状態を確認することが出来ます。
　ページへアクセスするためには、左側のメニューより、「ステータス表示」をクリックしてください。右側にページが表示されます。

・モニター表示切替え
　フロントパネルのインジケータに状態を表示するチャンネルを選択できます。
　リストボックスよりモニターするチャンネルを選択後、「更新」ボタンをクリックしてください。

・ステータス
　・素材状態通知
　　パソコンなどへ映像のエラーを通知する状態の場合はＯＮになります。
　　ステータスはリアルタイムでは更新されませんので、表示を更新する場合は「更新」ボタンをクリックしてください。



# お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

| 故障・保守サービスのお問い合わせは |
| --- |
| 販売店：<br><br>ＴＥＬ<br>担　当 |

| 製品の操作方法に関するお問い合わせは |
| --- |

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒959—0214
新潟県燕市吉田法花堂1974－1
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８